

大阪教育大学附属天王寺中学校評価資料  
—生徒、保護者、教師を対象とする調査結果—

令和8年3月

## (1) 調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

### 【生徒・保護者用】

- Q1 中学・高校の別
- Q2 性別（生徒の性別）
- Q3 学年
- Q4 組
- Q5 SSH 科目受講の有無（中学生は該当せず）

生徒：「学校のように、あなたの1学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」

保護者：「学校のようにお子さまの1学期から今までの学校生活をどう思われますか。」

1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：少し思う、4：思う

- Q6 私は学校に行くのが楽しい。(子どもは楽しく学校に行っている。)
- Q7 私は(子どもは)先生を信頼している。
- Q8 私は(子どもは)友人を信頼している。
- Q9 私は(子どもは)将来に目標を持ち、それに向けて努力している。
- Q10 私は授業をうけるのが楽しみだ。(子どもは楽しく授業を受けている。)
- Q11 私は(子どもは)予習復習や課題の提出などに普段から努力している。
- Q12 授業では深く考えたり探究的であったりするような課題が出されている。
- Q13 私は(子どもは)授業や学習において GIGA 端末など ICT 機器をよく活用している。
- Q14 私は(子どもは)グループで活動しながら学習するのが好きだ。
- Q15 私は(子どもは)心配や悩み事がある。
- Q16 私は困りごとや悩み事を相談できる相手がこの学校にいる。  
(この学校には、自分の子どもが困りごとや悩み事を相談できる相手がいる。)
- Q17 私は社会のルールや、学校のルールをよく守って生活している。  
(学校は社会のルールや、学校のルールをよく守らせようと取り組んでいる。)
- Q18 私は防災や安全に関心があり大切にしている。  
(学校は防災意識や安全意識を向上させようとしている。)
- Q19 私は自分の心と身体の健康を保つよう意識している。  
(学校は、子どもの心と身体の健康を保つよう取り組んでいる。)
- Q20 私は、お互いの人権を尊重している。  
(学校は、お互いの人権を尊重するよう取り組んでいる。)
- Q21 私は(子どもは)家庭で学校のことをよく話す。
- Q22 私は私の保護者によく理解されている。  
(私は子どもによく理解されている。)
- Q23 私は通う学校に誇りを持っている。  
(私は子どもの行く学校に誇りを持っている。)

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	学年
Q4	組
Q5	なし
Q6	私は職場に行くのが楽しい。
Q7	私は生徒から信頼されている。
Q8	私は同僚を信頼している。
Q9	私は生徒が将来に目標を持ち、それに向けて努力するよう指導している。
Q10	私は学ぶ楽しさを意識した授業づくりを行っている
Q11	私は生徒の学習習慣の向上を意識した指導を行っている。
Q12	私は深く考えたり探究的であったりするような授業作りを行っている。
Q13	私は授業中やその他の活動において生徒に ICT 機器をよく活用させている。
Q14	私は、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を行っている。
Q15	私は心配や悩み事がある生徒によく気がつく。
Q16	私は生徒の困りごとや悩み事の相談をよく受ける。
Q17	私は社会のルールや、学校のルールをよく守らせようと指導している。
Q18	私は防災意識や安全意識を向上させようとしている。
Q19	私は、子どもの心と身体の健康を保つよう取り組んでいる。
Q20	私は、お互いの人権を尊重するよう取り組んでいる。
Q21	私は保護者から信頼を得ている。
Q22	私は生徒とその保護者の関係をよく理解している。
Q23	私は勤務する学校に誇りを持っている。

生徒・保護者及び教員ともに質問項目を、R1-R4 より変更し、3 者に同様の内容を問う項目に改めた。

(2) 回答者数

対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

属性	性別			合計
	男	女	無記不明	
対象				
生徒	195	213	6	414
(n=414)	47.1%	51.4%	1.4%	
保護者	173	185	0	358
(n=358)	48.3%	51.7%	0.0%	
教員	11	5	0	16
(n=16)	68.8%	31.3%	0.0%	
全体	379	403	6	788
(n=788)	48.2%	50.6%	1.1%	

### (3) 学校生活にかかわる自己評価の（クロス集計）結果

#### Q6. 学校は楽しい

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	417	87.1
保護者	354	94.1
教員	16	81.3

保護者、生徒とも肯定的な回答の比率が 9 割ほどあり、生徒より保護者の方がその比率は高く、保護者の期待？が大きいことが伺える。教員は 80%程度で昨年度より 10%ほど改善している。

#### Q7. 先生を信頼(している・されている)

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	415	81.4
保護者	356	91.6
教員	16	81.3

生徒、保護者、教員の肯定的な回答の比率は 80～90%とかなり高いが、すべての項目において昨年度より数ポイント低下している。

#### Q8. 友人(同僚)を信頼

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	415	89.4
保護者	357	93
教員	16	87.5

生徒、保護者は、肯定的な回答の比率が 9 割を超えており、互いに信頼する関係にある。一方、教員間については昨年度は 70%ほどであったが、大きく改善が見られる。

#### Q9. 将来の目標・努力

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	407	72.2
保護者	357	68.3
教員	16	93.8

ほとんどの教員は目標を持つように指導しているが、生徒自身も保護者から見た生徒も将来について、まだ目標が定まっていない者が 1/3 ほどいる。

#### Q10. 授業が楽しい

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	417	71.5
保護者	358	91.3
教員	16	93.8

保護者、教員とも肯定的な回答の比率が8割以上あるが、生徒の約30%は、授業が楽しいと思っていない。生徒の心情は大人と異なり、授業が楽しくないと感じる生徒がかなりいる。

#### Q11. 予習復習

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	419	75.7
保護者	358	83.5
教員	16	87.5

保護者、教員とも、8割程度が、生徒が予習復習に努力していると思っているが、約25%の生徒が意欲的に取り組めていない。

#### Q12. 探究的課題がある

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	417	94.5
保護者	358	96.4
教員	16	87.5

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、9割を越えている。探究的な課題が出されていることを生徒も認識している。

#### Q13. ICT 機器を活用

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	417	94.5
保護者	356	96.6
教員	16	87.5

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、9割以上ある。GIGA 端末などの ICT 機器の操作を含め、生徒は学んでいる。教員の比率は昨年度は 60%弱だったが、大きく改善が見られる。

#### Q14. グループ学習が好き

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	413	84.3
保護者	356	81.5
教員	16	93.8

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、8割程度ある。生徒もグループ学習が好きなようだ。

#### Q15. 心配・悩み事あり

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	416	51.9
保護者	354	28.8
教員	16	81.3

約50%の生徒に心配や悩み事があるのに対して、保護者はその半分ほどしか子どもに悩みがあるとは思っていない。悩みの程度にもよるが、保護者には悩みがあるようなそぶりを見せないでいる生徒が多いと思われる。

#### Q16. 相談相手

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	413	71.4
保護者	356	77.8
教員	16	81.3

生徒や保護者から見て、7割超の生徒には相談相手となる友人がいる。逆に言えば、3割弱の生徒には相談できる友人がおらず、密な友人関係ができていない。

#### Q17. 社会や学校のルール遵守

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	415	89.4
保護者	355	93.2
教員	16	87.5

社会や学校のルール遵守に努めている割合は90%程度あり、真面目な生活態度でいることがわかる。

### Q18. 防災安全教育

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	416	80.3
保護者	355	85.1
教員	15	86.7

実体験がない中で防災や安全に関心を持ち続けるのは難しいと思うが、防災や安全に関心があり大切にしている生徒の比率は、8割程度と高い。

### Q19. 心と身体の健康

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	413	82.6
保護者	357	87.7
教員	16	100

心と身体の健康を保つよう意識している比率は、保護者は9割近いが、生徒は8割前後にとどまった。一方今年はずべての教員が意識していると答えている。

### Q20. 互いの人権を尊重

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	415	94.9
保護者	356	93
教員	15	100

互いの人権を尊重すると回答した比率は、生徒、保護者、教員とも9割を越え、人権についての高い理解が伺える。

### Q21. 家庭で会話

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	417	73.1
保護者	356	75.8
教員	16	87.5

家庭で学校のことをよく話す生徒は、約7割、話すと感じる保護者は約8割である。1/4ほどの生徒は家庭であまり話していない。

## Q22. 保護者に理解

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	415	80.2
保護者	354	85.6
教員	16	68.8

生徒の8割以上が、保護者に理解されていると感じている。

## Q23. 学校に誇り

	回答数	肯定（そう思う、多少そう思う）%
生徒	412	86.2
保護者	351	95.4
教員	16	75

生徒、保護者の90%以上が、学校に誇りを持っている。教員は、誇りがあると思っていないのが25%いる。

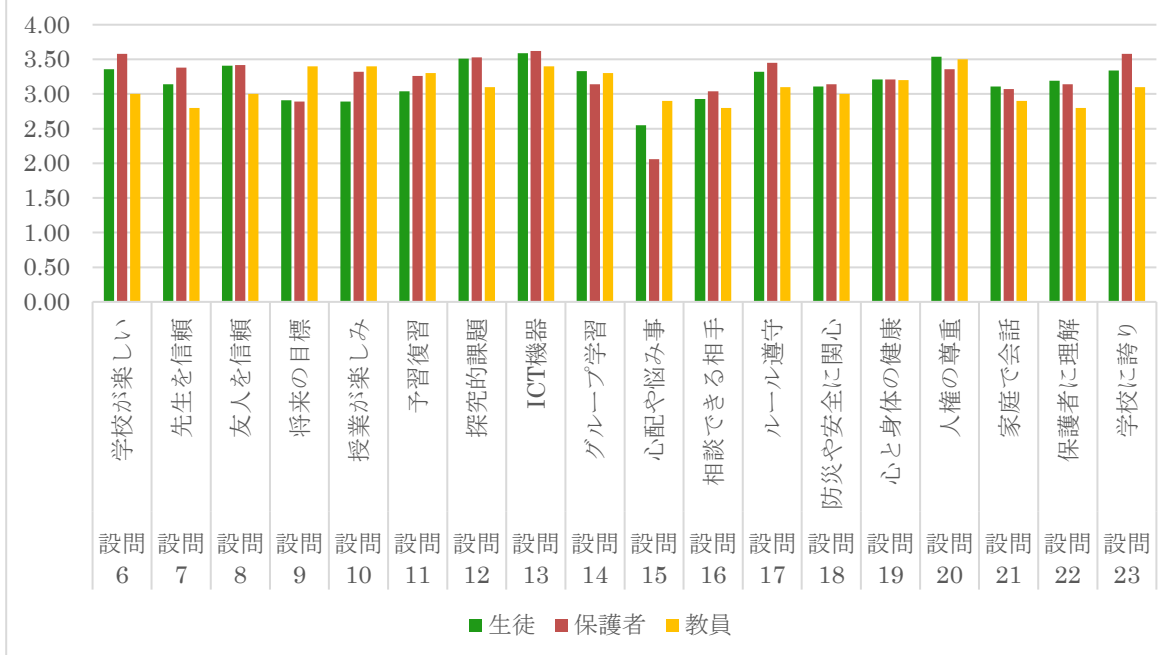
## （4）学校生活にかかわる自己評価の比較

### ① 生徒、保護者、教員間比較

アンケート項目に対する回答（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：多少そう思う、4：そう思う）を比率尺度とみなして、生徒、保護者、教員の各項目に対する回答の平均を算出した。

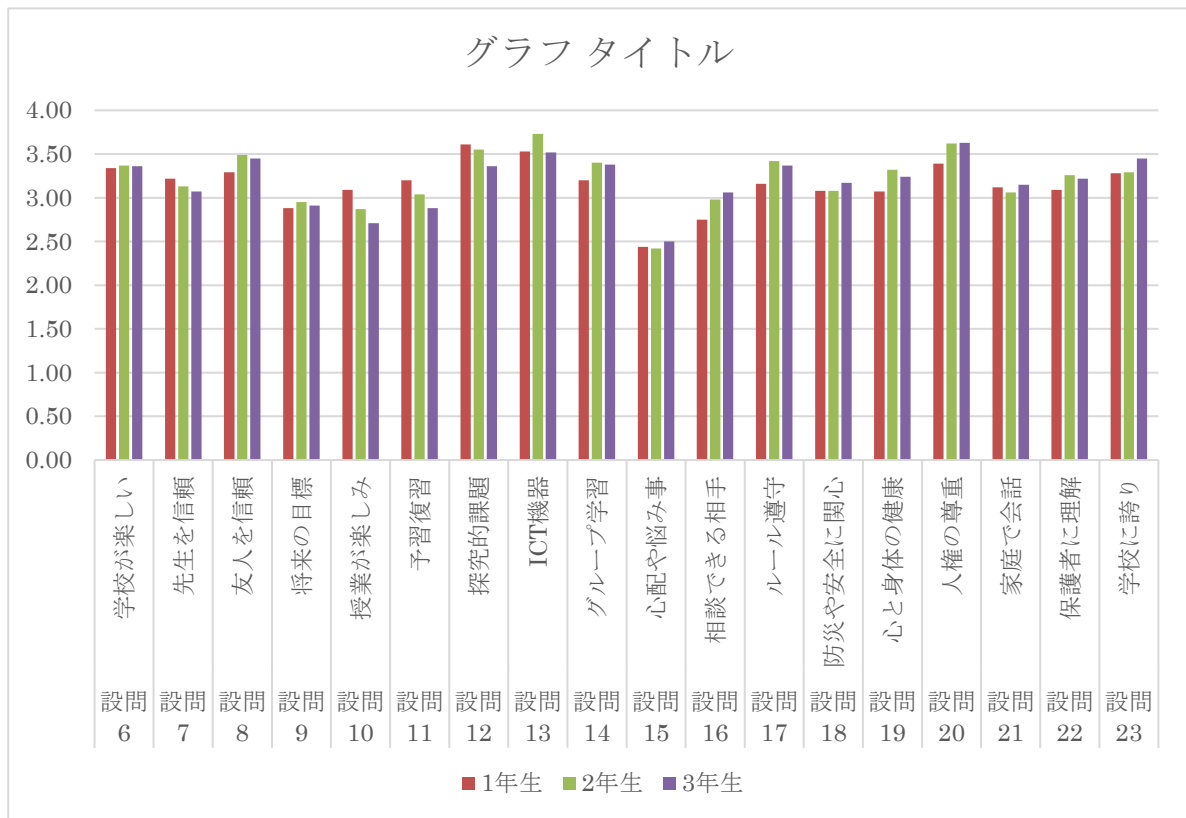
上記の各項目の平均値の生徒と保護者の間の差が大きいのは、「授業が楽しみ」「心配事悩みがある」「予習復習」の項目である。保護者が思っているほど「授業が楽しみ」ではなく、「心配事悩み」がないわけではなく、「予習復習」ができていないわけではない、ことがわかる。

### 生徒・保護者・教員の全体比較



項目	生徒	保護者	教員
学校が楽しい	3.36	3.58	3
先生を信頼	3.14	3.38	2.8
友人を信頼	3.41	3.42	3
将来の目標	2.91	2.89	3.4
授業が楽しみ	2.89	3.32	3.4
予習復習	3.04	3.26	3.3
探究的課題	3.51	3.53	3.1
ICT 機器	3.59	3.62	3.4
グループ学習	3.33	3.14	3.3
心配や悩み事	2.55	2.06	2.9
相談できる相手	2.93	3.04	2.8
ルール遵守	3.32	3.45	3.1
防災や安全に関心	3.11	3.14	3
心と身体の健康	3.21	3.21	3.2
人権の尊重	3.54	3.36	3.5
家庭で会話	3.11	3.07	2.9
保護者に理解	3.19	3.14	2.8
学校に誇り	3.34	3.58	3.1

② 生徒の学年による比較



設問	設問文	1年生	2年生	3年生
設問 6	学校が楽しい	3.34	3.37	3.36
設問 7	先生を信頼	3.22	3.13	3.07
設問 8	友人を信頼	3.29	3.49	3.45
設問 9	将来の目標	2.88	2.95	2.91
設問 10	授業が楽しみ	3.09	2.87	2.71
設問 11	予習復習	3.20	3.04	2.88
設問 12	探究的課題	3.61	3.55	3.36
設問 13	ICT 機器	3.53	3.73	3.52
設問 14	グループ学習	3.20	3.40	3.38
設問 15	心配や悩み事	2.44	2.42	2.50
設問 16	相談できる相手	2.75	2.98	3.06
設問 17	ルール遵守	3.16	3.42	3.37
設問 18	防災や安全に関心	3.08	3.08	3.17
設問 19	心と身体の健康	3.07	3.32	3.24
設問 20	人権の尊重	3.39	3.62	3.63
設問 21	家庭で会話	3.12	3.06	3.15
設問 22	保護者に理解	3.09	3.26	3.22
設問 23	学校に誇り	3.28	3.29	3.45

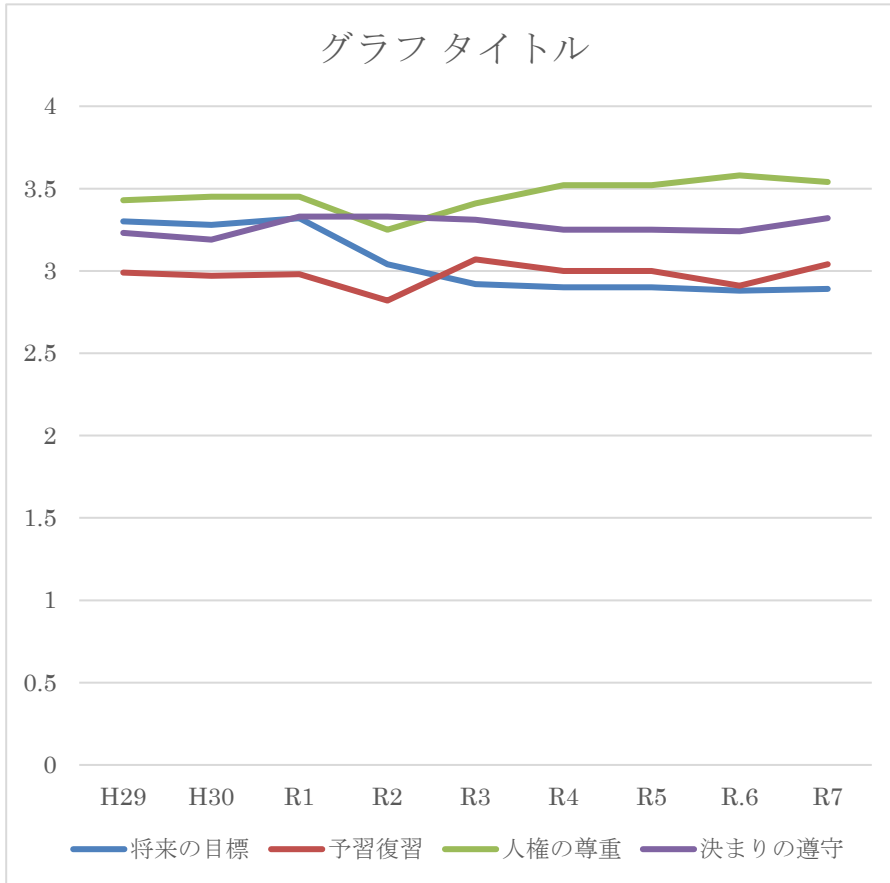
アンケート項目に対する回答（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：多少そう思う、4：そう思う）を比率尺度とみなして、各学年の生徒の各項目に対する回答の平均を算出した。

各項目の平均値を学年ごとに比較すると、「学校が楽しい」は高いスコアで一定であり、逆に「将来の目標」は学年が進行しても変化なく、一定の割合の生徒は目標を明確にできていないようである。学年進行とともに増加するのは「友人を信頼」「相談できる相手」などの人間関係に関する項目や「学校に誇り」もその傾向にある。一方、学年が上がるにつれて減少しているのが、「授業が楽しみ」「予習復習」「探究的課題」などの学習面での項目が目立つとともに、「先生を信頼」といった極めて重要な項目で減少傾向が見られるのは大きな課題と言える。

### ③ 年度別推移

アンケート項目に対する回答（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：多少そう思う、4：そう思う）を比率尺度とみなして、年度別の生徒の各項目(継続して調査している項目)に対する回答の平均を示した。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R.6	R7
将来の目標	3.3	3.28	3.32	3.04	2.92	2.9	2.9	2.88	2.89
予習復習	2.99	2.97	2.98	2.82	3.07	3	3	2.91	3.04
人権の尊重	3.43	3.45	3.45	3.25	3.41	3.52	3.52	3.58	3.54
決まりの遵守	3.23	3.19	3.33	3.33	3.31	3.25	3.25	3.24	3.32



継続してアンケートを実施している4項目について、平成29年から7年間の推移を図に示した。これら4項目の中で、コロナ禍の過去3年(R2～R4)に比率が大きく変化した項目は、「将来の目標」についてである。先行きの見えない不安な世相を反映しているのか、将来の目標を持ちにくい、努力できない、雰囲気を示しているのかもしれない。この傾向は、中高ともに見られたが、中学はコロナ禍前の値にまだ回復していない。